

2021年度数学講究XB（数理科学概説） 日程一覧

変更箇所：青字

月	日	曜日	時 間 帯	教員名	講義のタイトル
5	11	火	a(14:55～15:55)	伊藤 由佳理	特異点の幾何学
5	11	火	b(15:55～16:55)	加藤 晃史	場の量子論入門
5	12	水	a(14:55～15:55)	河東 泰之	作用素環と数理物理学
5	12	水	b(15:55～16:55)	阿部 知行	数論幾何と微分方程式
5	18	火	a(14:55～15:55)	植田 一石	ミラー対称性
5	18	火	b(15:55～16:55)	阿部 紀行	圏化と表現論
5	19	水	a(14:55～15:55)	足助 太郎	CP1上の力学系の極限集合といくつかの一般化について
5	19	水	b(15:55～16:55)	河澄 響矢	Goldman bracket
5	25	火	a(14:55～15:55)	小木曾 啓示	代数多様体の離散自己同型群を巡って
5	25	火	b(15:55～16:55)	吉田 朋広	中心極限定理と漸近展開
5	26	水	a(14:55～15:55)	三枝 洋一	非可換類体論入門
5	26	水	b(15:55～16:55)	中島 啓	Hitchinモジュライ空間について
6	1	火	a(14:55～15:55)	北山 貴裕	3次元多様体の基本群
6	1	火	b(15:55～16:55)	稲葉 寿	人口と感染症の数理
6	8	火	a(14:55～15:55)	小林 俊行	不連続群の幾何学と大域解析
6	8	火	b(15:55～16:55)	宮本 安人	微分方程式の定性的理論
6	9	水	a(14:55～15:55)	小池 祐太	高次元データ解析と中心極限定理
6	9	水	b(15:55～16:55)	逆井 卓也	リーマン面とグラフ
6	15	火	a(14:55～15:55)	ウィロックス ラルフ	偏差分方程式の特異点と可積分性
6	15	火	b(15:55～16:55)	石毛 和弘	Dirichlet heat flowと冪凹性
6	16	水	a(14:55～15:55)	会田 茂樹	ラフパスと確率微分方程式
6	16	水	b(15:55～16:55)	山本 昌宏	非整数階微分積分が開く研究の世界
6	22	火	a(14:55～15:55)	坂井 秀隆	パンルヴェ方程式
6	22	火	b(15:55～16:55)	齊藤 宣一	数理モデルと数値解析
6	23	水	a(14:55～15:55)	戸田 幸伸	接続層の導来圏
6	23	水	b(15:55～16:55)	今井 直毅	局所 Langlands 対応の幾何化
6	29	火	a(14:55～15:55)	ミラノフ トドール	d-GBV algebras and Frobenius manifolds
6	29	火	b(15:55～16:55)	辻 雄	p 進 Hodge 理論と L 関数
6	30	水	a(14:55～15:55)	柏原 崇人	滑らかな領域における有限要素法の誤差評価
6	30	水	b(15:55～16:55)	林 修平	ローレンツ・アトラクターと特異双曲性
7	6	火	a(14:55～15:55)	高山 茂晴	複素代数幾何学
7	6	火	b(15:55～16:55)	高木 俊輔	可換環論における代数幾何学的手法
7	7	水	a(14:55～15:55)	岩木 耕平	完全WKB解析と位相的漸化式
7	7	水	b(15:55～16:55)	白石 潤一	Kac行列式
7	13	火	a(14:55～15:55)	木田 良才	An invitation to measured group theory
7	13	火	b(15:55～16:55)	金井 雅彦	離散群の剛性
7	14	水	a(14:55～15:55)	斎藤 毅	数論と幾何
7	14	水	b(15:55～16:55)	佐々田 慎子	相互作用粒子系からの様々な数学

1. 授業の実施形態等詳細については、UTASのシラバスに掲載しますのでご確認ください。
2. オンライン講義のURLはUTASのシラバスで通知します。UTASの数学講究XBを講義の当日に見るようにしてください。
3. 数学講究XBは、原則全講義の受講が必要です。やむを得ない事情で欠席する場合は、事前に理由等をメールで連絡してください。
メール宛先：数理科学教務チーム (skyoumu@ms. u-tokyo. ac. jp)
4. 講義中にレポート課題の提示がありますので、全講義終了後に2名の教員の講義を選択し、ITC-LMSでレポート2課題を提出してください。XBの成績は2部のレポートの総合評価と出欠状況で判定されます。
レポートの提出締切日は、7月21日（水）です。